

2012 年度（平成 24 年度）
早稲田大学大学院経済学研究科
入学試験要項

修士課程社会人入学試験

〔2012 年 4 月入学者 専用〕

第 1 期募集:2011 年 9 月試験実施

第 2 期募集:2012 年 2 月試験実施

〔参考〕【第 3 期募集(9 月入学入試)について】

第 3 期募集(9 月入学入試)は、Global Admission Program として、出願書類審査に加え、下記の会場で口頭試問を実施します。

東京・北京・上海・台北・ソウル・シンガポール・ボン・オレゴン

日本国外から出願する方(国外出願者)は、上記受験会場での口頭試問により、来日せずに入学試験を受けることが可能です。詳細は第 3 期募集の入試要項(2011 年 12 月中旬公開予定)をご確認ください。

< 目次 >

1. 入学試験について.....	3
(1) アドミッションポリシー.....	3
(2) 社会人入学試験制度の趣旨と対象者.....	3
(3) 2012年度4月入学試験概要.....	3
2. 募集内容.....	5
(1) 出願資格.....	5
(2) 試験日程.....	5
(3) 募集人員.....	6
3. 試験内容.....	7
(1) 試験日程.....	7
(2) 試験科目.....	7
(3) 注意事項.....	8
4. 出願手続.....	10
(1) 出願方法.....	10
(2) 入学検定料.....	10
(3) 出願書類作成上の注意.....	11
(4) 出願書類.....	12
(5) 受験票の送付.....	14
5. 合格者発表.....	15
6. 入学手続.....	16
(1) 入学手続日程.....	16
(2) 入学手続方法.....	16
(3) 入学手続書類.....	16
7. その他.....	17
(1) 1.5年修了希望申請について.....	17
(2) 入学金・学費・諸会費.....	17
(3) 入学後の研究指導および履修について.....	17

< 付録 >

コンビニエンスストアでの入学検定料入学手続について.....	19
特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度について.....	20

< 受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合 >

身体機能の障害により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、当研究科事務所（Tel: 03-3208-8560、E-mail: gse-ml@list.waseda.jp）にお問い合わせください。また、大きな病気やけがのため、受験や就学に支障をきたす恐れがある場合も、それが万が一出願後に起こった場合でも、速やかにお知らせください。

< 個人情報の取扱について >

当学では、志願時に収集した個人情報（氏名・生年月日・住所等）を、入学試験実施・合格者発表・入学手続およびこれに付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行ないます。

また、上記業務の全部または一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。

1. 入学試験について

(1) アドミッションポリシー

当研究科では、現実の政治・経済・社会の問題やその歴史的展開に対する興味だけでなく、それらを理論的に解明しようとする姿勢を持った学生を選抜するという理念の下に入学試験が行われています。すなわち、現実の社会に関する知識や過去から現在までの歴史的事実に対する知識を持つだけでなく、論理的思考の重要性を理解し、理論の習得に必要な不可欠な数理的・統計的分析方法にも果敢に挑戦しうる人物であることが期待されています。もちろん、入学時からすべての要求を満たすことは困難ですので、さまざまな興味・関心を持った学生が集まって相互に影響を与え合いながら自分の長所を伸ばし、現実的な感覚と論理的思考の両者を発展させることができるよう、入学者選抜においても配慮します。

今日の多くの社会問題では政治と経済が複雑に絡み合っており、政治学と経済学の共同なくしては根本的な解決策を提示することが困難です。国際政治経済学コースでは、政治と経済の相互関連領域である政府や国際機関、あるいは国際関係、国家間経済関係などに興味を持ち、経済学だけでなく政治学をも縦横無尽に利用して、それらの領域における諸問題の論理的説明と解決のための処方箋作成を試みようとする学生の入学を期待します。

(2) 社会人入学試験制度の趣旨と対象者

単に経済学の高度な専門家を養成することにとどまらず、社会の要請にも応じながら、広く高等教育を与えるためのものとして、すでに豊かな実務経験を持つ方は無論のこと、高校以下の教員で再教育を受けたいと考えている方や、学部における経済学の教育に飽き足らず、更に新しい経済学の進展について改めて理解したいと考える方に対して、社会人入学試験を実施いたします。

大学院は、基本的には修士（更に程度の高いものを追求する場合には博士）の学位を与えるものですから、修士論文を書き上げる意図と熱意、そしてそのための基礎学力を持った方であれば、どなたでも門戸が広く開かれています。当研究科はそのような方であれば、(下記の出願資格を満たしている場合) 可能な限り多くの学生を受け入れようと考えております。

(3) 2012年度4月入学試験概要

	試験科目	試験内容	備考
1	英語	筆記試験（免除制度あり）	筆記試験免除希望者は、出願時に所定の証明書類を必ず提出すること（外国学生 ¹ は提出必須）。
2	口頭試問	面接試験	東京会場（早稲田大学早稲田キャンパス）のみで実施します。

※1. 「外国人学生」と「外国学生」の区分については、p. 4を参照してください。

(注意)

○外国人学生・外国学生の区分の違いについて

- ・当学における**外国人学生**とは「日本国内にある大学の学部・大学院を卒業・修了した（卒業・修了予定含む）外国人」のことを表しています。
- ・一方、**外国学生**とは「日本以外の外国にある大学の学部・大学院を卒業・修了した（卒業・修了予定含む）外国人」のことを表しています。

○国内出願者と国外出願者の違いについて

・国内出願者（日本国内居住者の場合）

入学手続完了時まで有効な在留資格（ビザ）を持って日本国内に居住する者が日本国内から当学に出願する方法です。国内出願の場合は、出願時に「外国人登録証明書」を提出しなければなりません。なお、国内出願の場合は、早稲田大学による在留資格（ビザ）の代理申請は行ないませんので、必ず入学時期までに在留期限があるかどうかを確認の上、出願してください。

・国外出願者（日本国外居住者の場合）

（出願する年度の前期に別科日本語専修課程等に在籍して日本国内に居住しており、課程終了後、年度後期には日本国外に居住する予定の者も含む）出願時に日本国外に居住する者が、海外より直接当学に出願する方法です。外国人学生・外国学生のうち、国外出願者は第2期募集には出願できませんのでご注意ください。

※当入試要項は4月入学(第1期/第2期)専用の入試要項です。9月入学を希望する場合は、9月入学(第3期)専用の入試要項を確認してください。

2. 募集内容

(1) 出願資格

以下の①～④のいずれかに該当する者（実務経験の有無は問いません）。

- ①2009年3月までに大学を卒業した者。
- ②大学評価・学位授与機構により、2009年3月までに学士の学位を授与された者。
- ③外国において通常の課程による16年の学校教育を2009年3月までに修了した者。
- ④旧教育制度修了者、各種大学校卒業者で、文部科学大臣が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。

- (注) 1. 前述に該当しない者で、当研究科が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認める場合もあります。詳細については当研究科事務所（Tel: 03-3208-8560、E-mail: gse-ml@list.waseda.jp）へお問い合わせください。
2. 当研究科では、社会人入学試験を同一募集年度内に第1期募集、第2期募集および第3期募集のうち複数回受験することは認めません。ただし、同一募集年度内に社会人入学試験と一般入学試験の両方を受験することは可能です。

(2) 試験日程

	第1期募集	第2期募集(国内出願のみ※2)
出願期間	2011年8月8日～8月10日	2012年1月11日～1月13日
検定料振込期間	2011年8月1日～8月10日	2012年1月6日～1月13日
受験票発送予定日	2011年8月26日	2012年2月14日
筆記試験・口頭試問	2011年9月10日	2012年2月25日
合格者発表日	2011年9月16日	2012年3月2日
入学手続期間	[第1次手続] 2011年10月3日～10月7日 [第2次手続] (国外出願者の場合※1) 2011年12月12日～12月15日 (上記以外) 2012年3月8日～3月9日	2012年3月8日～3月9日

※1: 外国人学生・外国学生のうち、国外出願者の方は、在留資格（留学ビザ）取得手続を当学留学センターが代理出願するため、第2次手続期間が異なります。ご注意ください。

※2: 外国人学生・外国学生のうち、国外出願者の方は第2期募集時に出願できませんのでご注意ください。

- (注) 1. 修士課程一般入学試験の日程は、上記とは異なります。
2. 当研究科では、入試実施年度内において、社会人入学試験の受験機会は1回のみとなります。ただし、同じ年度内でも、一般入学試験の受験は可能です。
3. 「外国人学生」と「外国学生」の区分についてはP.4を参照してください。

(3) 募集人員

専攻名称	コース名称	研究領域名称	研究指導名称	定員
経済学専攻	経済学コース	経済理論	理論経済学	70名
			数理経済学	
			経済学説史	
		統計・計量分析	計量経済学	
			統計学	
			経済統計	
			数量経済政策	
			産業エコロジー	
			金融工学	
			経済史	
		日本経済史		
		アジア経済史		
		経済政策	経済政策理論	
			産業組織論	
			農業経済学*	
			金融論*	
			政治経済学方法論	
		公共政策	社会政策	
			社会保障	
			労働経済学	
			公共経済学	
			財政学	
			環境経済学*	
	国際経済	国際経済論		
		開発経済論		
		国際政治経済学		
	国際政治経済学コース ※本コースには研究領域の区別はありません。	国際経済論	10名	
開発経済論				
国際政治経済学				
経済政策理論				
公共経済学				
環境経済学*				
農業経済学*				
政治経済学方法論				
数量経済政策				

*印がある研究指導は2012年度4月入学は募集停止となります。

※第2期における募集内容に変更がある場合、当研究科ホームページ (<http://www.waseda-pse.jp/gse/>) に公開します(2011年10月以降予定)。

<国際政治経済学コースへの出願に関する注意事項>

当該募集年度中に、当学大学院政治学研究科の国際政治経済学コースと当研究科の国際政治経済学コースに同時に併願することは認めません。

3. 試験内容

(1) 試験日程

試験科目	第1期募集	第2期募集
筆記試験（英語）※ ／口頭試問	2011年9月10日	2012年2月25日

※筆記試験免除対象者は、筆記試験を受験する必要はありません（下記（2）参照）。

<試験時間割（予定）>

試験種別	時限	試験科目	時間	備考
筆記試験	1	英語	9:30～11:30	英語筆記試験免除者は受験不要
口頭試問	口頭試問時間については別途指示します（9:00～18:00を予定）。			

※4月入学（第1期、第2期）の入学試験においては、筆記試験および口頭試問を早稲田大学早稲田キャンパスで実施いたします。国外出願者の方は、試験日に来日しなくてはなりませんのでご注意ください。

(2) 試験科目

英語筆記試験を実施します。なお、筆記試験免除制度があります。

①筆記試験：英語（英文和訳）

[試験時間] 120分

[解答方法] 3問中3問（全問）解答（辞書持込可）

※1冊のみ辞書持込可（ただし、電子辞書は不可）

[試験免除] 下記のいずれかに該当する場合、英語筆記試験が免除となります（詳細はp.12「(4)出願書類」を参照）。

1. 日本人の方で、出願時に TOEFL/TOEIC/IELTS いずれか1点の、下記の所定基準を満たすスコアカードのコピーを提出した場合
2. 外国人学生で、出願時に TOEFL/TOEIC/IELTS/日本語能力試験/日本留学試験いずれか1点の、下記の所定基準を満たすスコアカードのコピーを提出した場合
3. 外国学生全員（希望言語に合った語学証明書類の提出により、全員が英語筆記試験免除となります。）

<語学要件所定基準表>

検定試験種別	所定基準
TOEFL	iBT: 79点以上、PBT:550点以上、CBT: 213以上のいずれか1点
TOEIC	730点以上
IELTS	6.0以上
日本語能力試験	1級（またはN1）以上（外国人学生・外国学生のみ）
日本留学試験	260点以上（外国人学生・外国学生のみ）

※TOEFL/TOEIC/IELTSは、出願期間の最終日より遡って2年以内に受験したもののみ有効とする。

※日本語能力試験および日本留学試験については、有効期限を定めない。

③口頭試問

口頭試問の目的は、大学院で研究に従事し、2年間で修士論文を作成するための基礎知識をはじめとする研究能力の確認を、出願書類（特に研究計画書）に記載されている内容を確認することにあります。必ずしも経済学に関する専門的な知識を十分に持っている必要はありませんが、試験の結果次第では入学後に特定の講義に出席することが義務付けられる場合もあります。

- ・全志願者に対し、面接試験を行います。
- ・口頭試問日時・会場は受験票にて通知します。面接時間は20分を予定しています。
- ・日本語能力の証明書を提出した外国学生・外国人学生については、口頭試問において英語能力についても問うことがあります。
- ・国際政治経済学コース志願者については、口頭試問の際に政治学に関する基礎知識の試問も行なうことがあります。

※なお、研究計画と志望教員の不一致により不合格になった者は、当研究科が指定した研究領域において合格とすることがあります。

(3) 注意事項

- ・受験生は各科目試験開始20分前には試験教室に入室してください。試験教室には受験票・筆記用具を持参し、受験票は机上に置いて待機してください。
- ・試験開始後20分を経過してからの入室は一切認めません。
- ・解答は日本語で記してください。ただし、英語による研究指導を希望している者は出願書類のみならず、試験解答においても全て英語で記してください。
- ・試験答案用紙はペンまたはボールペン（青または黒）書きとします。修正液は使用できません。
- ・携帯電話等は電源を切ってください。また机上には置かないでください。
- ・口頭試問の日は受験生ごとに特定の時間を指定します。
- ・勉学と両立することが原則になりますが、定職を持つ方でも入学を認められることがあります。詳細については当研究科事務所（Tel: 03-3208-8560、E-mail: gse-ml@list.waseda.jp）にお問い合わせください。
- ・一度提出した出願書類および入学検定料は原則として返還できません。ただし、以下のケースに該当する場合には、入学検定料に限り返還いたします。該当する方は当研究科事務所（Tel: 03-3208-8560）までご連絡ください。
 - 1) 検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった
 - 2) 出願資格を満たさなかった、または、出願締切後に書類を提出した
- ・次のことをすると不正行為となることがあります。
 - カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
 - 筆記試験において、使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと。
 - 筆記試験において、「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること（冊子を開く、解答を始める、裏面・余白などに書き込みを行うなど）。
 - 筆記試験において、「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。
 - 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験生を利するような行為をすること。
 - 試験時間中に携帯電話を身に付けること。
 - 試験時間中に携帯電話や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
 - 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - 試験場において試験監督員等の指示に従わないこと。
 - 志願者以外のもので志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- ・不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。
 - 監督員が注意をする、または事情を聴くこと。
 - 別室での受験を求めること。
- ・また、不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
 - それ以降の受験および当該年度における当学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
 - 当該年度における当学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

- ・早稲田大学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。あらかじめご了承ください。

○受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ①生活騒音（航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行ないません。
- ②試験中に携帯電話や時計などの音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験場外に持ち出し、試験本部で保管することがあります。
- ③机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
- ④他の受験者が迷惑と感ずる行為がある場合、別室受験を求めることがあります。

○不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

【受験生の皆さんへお願い】

- ①万全の体調で試験に臨めるよう、普段から手洗いやうがいを慣行し、ご自身の健康には十分留意してください。
- ②入学試験会場でのインフルエンザ等感染症への感染を防ぐため、必要に応じて各自でマスクを用意してください。
- ③咳・くしゃみが出る方はマスクを着用する、咳エチケットを守るなど、周囲の方への感染防止にご配慮ください。

4. 出願手続

(1) 出願方法

①出願期間：

第1期募集	第2期募集
2011年8月8日～8月10日	2012年1月11日～1月13日

※締切日消印有効（ただし、国外からの郵送の場合は締切日必着）。

- ②出願方法：市販の封筒（角型2号サイズ）に出願書類一式を封入し、所定の出願書類提出用宛名ラベルを封筒の宛名面に貼付の上、必ず[特定記録郵便]もしくは[簡易書留郵便]にて送付してください。なお、出願締切日が近いときは[特定記録・速達郵便]もしくは[簡易書留・速達郵便]にて送付してください。なお、日本国外から送付する場合は、EMSで送付してください。

(2) 入学検定料

①納入期間：

第1期募集	第2期募集
2011年8月1日～8月10日	2012年1月6日～1月13日

- ②納入金額：30,000円

- ③納入方法：入学検定料の納入は、日本国内または海外送金にて出願前に必ず行なってください。**入学検定料を納入していない場合、出願は受け付けません。**

- ・当研究科への入学後に国費外国人留学生となる可能性がある場合、検定料が免除になることがあります。該当者は出願前に当研究科事務所までご相談ください。
- ・「特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度」もあります（詳細はp.20参照）。

A. 日本国内から納入する場合

- ・入学検定料は、p.19記載の「コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法」に従い、所定のコンビニエンスストア店頭にある情報端末で支払手続を行なってください。支払終了後、「入学検定料取扱明細兼受領書」の収納証明書を切り取って志願票の所定欄に貼付し、出願書類とともに提出してください。
- ・コンビニエンスストアでの入学検定料支払期間も上記記載の納入期間の通りです。
- ・支払は、土・日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。ただし、各期とも納入受付開始日は10時から、納入受付終了日は23時までの利用となります。
- ・コンビニエンスストアでの支払に際しては、家族・知人が代理で手続する場合でも、必ず情報端末に志願者本人の情報を入力するようにしてください。
- ・検定料支払は原則としてコンビニエンスストアでの支払のみを受け付けますが、お住まいの地域に所定のコンビニエンスストアがないなどの理由により支払が困難である場合には、事前に当研究科事務所（Tel: 03-3208-8560、E-mail: gse-ml@list.waseda.jp）までご連絡ください。

B. 日本国外から納入をする場合（海外送金による納入）

下記の要領に従い、金融機関より海外送金してください。その際、銀行所定の海外送金申請書のコピーを出願書類に同封してください。

<海外送金要領>

送金種類	電信送金 (Telegraphic Transfer)
支払方法	通知払 (Advise and Pay)
振込銀行手数料	依頼人負担 (Payer's Responsibility)
円為替手数料	受取人負担 (Payee's Account)
送金額	32,500 円 (検定料+円為替手数料 2,500 円) ※現地金融機関において別途手数料が必要となる場合、この金額とは別に窓口で 手続時にお支払いください。
送金目的	入学検定料 (Screening Fee)
送金先銀行名	三菱東京 UFJ 銀行 (The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.)
支店名	江戸川橋支店 (Edogawabashi Branch)
口座番号	0035967FHF ※口座番号欄には数字 7 文字とアルファベット 3 文字を記入してください。
受取人	早稲田大学 (Waseda University)
銀行住所	〒112-0014 東京都文京区関口 1-48-13 (1-48-13, Sekiguchi Bunkyo-ku Tokyo 1120014, Japan)
スウィフトコード	BOTKJPJT
備考	必要連絡事項 (Message to Payee, if any) には受験者本人の氏名 (Applicant's name) の前に "32GSE " を必ず記入してください。

(3) 出願書類作成上の注意

- ・ [所定用紙]フォーマットは当研究科ホームページからダウンロードしてください (A4 サイズの用紙に印刷してください)。(http://www.waseda-pse.jp/gse/admission/literature/#02)
- ・ 出願書類は、日本語学位プログラム希望者は全て日本語で、英語学位プログラム希望者は全て英語で作成してください。
- ・ 出願書類の作成にあたっては、黒のボールペンを使用し、文字は楷書、数字は算用数字で記入してください。
- ・ ※印のある欄には記入しないでください。
- ・ 改姓のため、証明書等に記載されている氏名が異なる場合は、適宜、戸籍抄本等を添付してください。
- ・ 出願書類は出願者によって一部異なります。出願書類一覧 (p. 12) で必要な提出書類を確認してください。

(4) 出願書類

出願書類一覧

	提出物	対象者	備考
A	入学志願票	全員	[所定用紙] 「入学検定料取扱明細兼受領書」の収納証明書を志願票の所定欄に貼付。
B	卒業(修了)証明書/ 学位証明書	全員	原本
C	成績証明書	全員	原本
D	在職証明書	全員	原本
E	研究計画書	全員	[所定用紙]
F	職歴書	全員	[所定用紙]
G	カラー写真	全員	1枚
H	返信用切手 (受験票等送付用)	全員	①国内出願者 切手 320 円分 (速達送付用) ②国外出願者 国際返信切手券 (International Reply Coupon) 7 枚 または国際郵便為替 900 円分 (EMS 送付用)
I	TOEFL/TOEIC/IELTS/ 日本語能力試験/日 本留学試験いずれか 1 点の スコアカード	日本人	英語筆記試験の免除を希望する場合は、 TOEFL/TOEIC/IELTS のうちいずれか 1 点の、所定基準を 満たすスコアカードのコピー
		外国人学生 ※1	①日本語学位プログラム希望者 英語筆記試験の免除を希望する場合は、 TOEFL/TOEIC/IELTS/日本語能力試験/日本留学試験の うちいずれか 1 点の、所定基準を満たすスコアカード のコピー ②英語学位プログラム希望者 TOEFL/TOEIC/IELTS のうちいずれか 1 点の、所定基準 を満たすスコアカードのコピー
		外国学生 ※1	①日本語学位プログラム希望者 日本語能力試験/日本留学試験のうちいずれか 1 点の、 所定基準を満たすスコアカードのコピー ②英語学位プログラム希望者 TOEFL/TOEIC/IELTS のうちいずれか 1 点の、所定基準 を満たすスコアカードのコピー

※1 外国学生・外国人学生の違いは、p. 4 を参照してください。

出願書類別の注意事項

A：入学志願票[所定用紙]（「第1期/第2期専用」を使用すること）

- ・出願者情報は、記入例に従って記入してください。
 - ・「入試種別」欄は「社会人入試」を選択してください。
 - ・「希望プログラム」欄は、いずれか1つをチェックしてください。
 - ・「志望内容」は、「コース・研究領域」もしくは「コース・研究領域・希望指導教員」まで出願時に決まっている場合はAを、「コース」のみ志望時に決まっている場合はBを選択してください。
※出願書類提出後の試験項目変更は一切認めません。
- ＜Aを選択した場合＞
- 希望するコース、研究領域、指導教員名、指導コードを希望に応じて第2志望まで記入してください。
なお、指導教員名および指導コードは下記ホームページを参照してください。
http://www.waseda-pse.jp/file/File/keiken/Application_Master/2012_M_seminarlist_J.pdf
- ＜Bを選択した場合＞
- 希望するコースを、希望に応じて第2志望まで記入してください。
- ・「試験方法の選択」欄は、英語の試験科目について、該当する審査方法（提出する証明書・スコアカード）をチェックしてください。
- ＜英語＞
- 「筆記試験」「TOEFL」「TOEIC」「IELTS」「日本語能力試験」「日本留学試験」のうちいずれか1つを選択してください。
- 「TOEFL」「TOEIC」「IELTS」に関しては、取得したスコアも記入してください。
- ※母国語が英語である者および、英語圏の高等教育機関（大学以上）において学位を取得した者は、「母国語が英語／英語圏の大学を卒業した者」を選択してください。
- ※「経済学」については一般入試のみ対象となりますので、社会人入試出願者は選択できません。
- ・「入学検定料取扱明細兼受領書」の「収納証明書」は、検定料支払後、志願票の所定欄に貼付し提出してください。

B：卒業（修了）証明書／学位証明書

- ・必ず原本を提出してください(コピーは不可)。
- ・証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。日本語または英語で発行できない場合は、翻訳文を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書(原本)とあわせて提出してください。
- ・大学卒業後、大学院に進学して修了した場合は、大学と大学院の証明書の両方を提出してください。

C：成績証明書

- ・必ず証明書の原本を提出してください(コピーは不可)。
- ・成績証明書は、大学学部以上の全学期の成績が記載されたものを提出してください。大学卒業後、大学院に進学して修了した場合は、学部・修士課程両方の成績証明書を提出してください。
- ・休学等をしていた場合は、大学または公的機関発行の証明書をご提出ください。

D：在職証明書

- ・必ず証明書の原本を提出してください(コピーは不可)。
- ・書式は自由。ただし氏名、生年月日、性別、会社名、住所、電話番号および社判のあるもの。また、提出できない場合は、便箋などに理由を明記の上、提出してください

E：研究計画書[所定用紙]

- ・研究計画書には、志望動機・当研究科での研究課題、その課題について自身で勉強したこと、および入学後の研究予定を記入してください。
- ・所定の研究計画書表紙とともに左上に1箇所ホチキス留めしてください。
- ・研究計画書の字数は2,000字程度(最大4,000字)にしてください(英語の場合は1,000語程度)。

※「第2志望」まで希望する方へ

- 第1志望と第2志望で研究計画の内容が同じ場合、研究計画書表紙の「第1志望」「第2志望」両方に「○」をつけてください。
- 第1志望と第2志望で研究計画が異なる場合、第1志望用と別に、第2志望用の研究計画書も提出してください。

F：職歴書[所定用紙]

職務歴がない場合でも提出して下さい。

G：カラー写真

- ・写真は、タテ4cm×ヨコ3cm(枠無し)上半身、正面、無帽、無背景で、願書受付日前3ヶ月以内に撮影したカラー写真とします(入学手続き時に同一の写真が2枚必要となりますので、提出できるようにしておいてください)。また、眼鏡の有無、髪型等、試験場において間違われるような写真は不可とします。写真は、裏面に氏名をボールペンで記入し、志願票にクリップで留めてください。

H：返信用切手

- ・受験票送付用として、切手(速達郵便：320円分)を出願書類送付時に同封してください。
※送付先が国外の場合は、国際返信切手券(International Reply Coupon)7枚または国際郵便為900円分(EMS送付用)を同封してください。

I：TOEFL/TOEIC/IELTS/日本語能力試験/日本留学試験いずれか1点のスコアカード(コピー)

P.12の表中「I」の対象者別備考欄を参照の上、下記の基準を満たしたスコアカードを提出してください。

<語学要件所定基準表>

検定試験種別	所定基準
TOEFL	iBT: 79点以上、PBT:550点以上、CBT: 213以上のいずれか1点
TOEIC	730点以上
IELTS	6.0以上
日本語能力試験	1級(またはN1)以上(外国人学生・外国学生のみ)
日本留学試験	260点以上(外国人学生・外国学生のみ)

※TOEFL/TOEIC/IELTSは、出願期間の最終日より遡って2年以内に受験したものに限り有効とする。

※日本語能力試験および日本留学試験については、有効期限を定めない。

<英語での研究指導を希望する方へ>

英語での研究指導を希望する者のうち、母国語が英語である者および、英語圏(※1)の高等教育機関(大学以上)において学位を取得した者は、スコアカードの提出は不要です。

※1. 英語圏ではない場合でも、英語のみのプログラムにおいて学位を取得した場合には、語学能力証明書の提出が不要となる場合もあります。詳細については当研究科事務所(Tel: 03-3208-8560、E-mail: gse-ml@list.waseda.jp)へお問い合わせください。

(5) 受験票の送付

出願受付後、出願が受理された志願者に対し、志願票に記載された住所宛に受験票等を送付します。試験実施日の7日前になっても受験票が届かない場合は、直ちに当研究科事務所(Tel: 03-3208-8560、E-mail: gse-ml@list.waseda.jp)までお問い合わせください。受験票は、入学後学生証の交付時に必要となりますので、大切に保管してください。

5. 合格者発表

合格者発表日：

第1期募集	第2期募集
2011年9月16日	2012年3月2日

合格者発表は掲示および当研究科ホームページにおいて行ないます。電話による合否に関するお問い合わせには応じることができません。

【掲示による合格者発表場所】

早稲田キャンパス9号館前 大学院経済学研究科掲示板

【ホームページ掲載先】

当研究科ホームページ (<http://www.waseda-pse.jp/gse/>) に掲載します。

最終合格者には、志願票に記載された住所宛に入学手続書類一式を郵送します。合格者発表日から5日経っても書類が届かない場合、直ちに当研究科事務所 (Tel: 03-3208-8560、E-mail: gse-m1@list.waseda.jp) までお問い合わせください。

6. 入学手続

(1) 入学手続日程

第1期募集	第2期募集
[第1次手続]2011年10月3日～10月7日 [第2次手続] (国外出願者の場合※1) 2011年12月12日～12月15日 (上記以外) 2012年3月8日～3月9日	2012年3月8日～3月9日

※外国人学生・外国学生のうち、国外出願者の方は、在留資格（留学ビザ）取得手続を当学留学センターが代理出願するため、第2次手続期間が異なります。ご注意ください。

※第1期募集の入学手続きは、第1次・第2次の2回に分かれます。詳細は、合格者に送付する「入学手続の手引き」をご参照ください。

(2) 入学手続方法

入学手続が完了するには、登録料・学費等の振込および入学手続書類の提出が必要です。

※第1期募集の第1次入学手続時には、入学金の振込および下記(3)①誓約書・保証書、②個人情報の取扱いに関する同意書の提出が必要です。

① 郵送で提出する場合

登録料・学費等を振込後、書留郵便にて、当研究科事務所宛に締切日必着にて入学手続書類を送付してください。

② 事務所窓口で直接提出する場合

登録料・学費等を振込後、上記期間内に、当研究科事務所にて受験票を提示の上、入学手続書類を提出してください。

(3) 入学手続書類

- ① 誓約書・保証書
- ② 個人情報の取扱いに関する同意書
- ③ 住民票（外国籍の方は、登録原票記載事項証明書）
- ④ 卒業（修了）証明書・成績証明書
- ⑤ 入学手続用紙
- ⑥ 学生証用写真カード
- ⑦ 学生カード（2枚）
- ⑧ 学費等振込証明書（コピー）
- ⑨ 預金口座振替依頼書・自動払込受付通知書
- ⑩ 在留資格認定証明書申請書類¹（外国籍の方のうち、国外出願者のみ）
- ⑪ その他

1. 在留資格認定証明書申請について

当学へ入学を許可された外国学生は、在留資格「留学」を取得することができます。日本に入学するためには、まず日本国内の法務省入国管理局に「在留資格認定証明書」を申請する必要があります。早稲田大学では入学手続を完了した国外出願の外国人学生に限り、本人に代わって入国管理局に「在留資格認定証明書」の代理申請を行います。代理申請後、「在留資格認定証明書」が入国管理局より早稲田大学に交付されましたら、早稲田大学から申請者に郵送いたします。「在留資格認定証明書」を受け取った後は、パスポートとともに日本大使館、領事館で「留学」ビザ（査証）を申請してください。「在留資格認定証明書」の交付には1～2ヶ月の時間を要しますので、入学手続時に、必要書類を経済学研究科まで送付してください。必要書類は合格者に送付する「入学手続の手引き」をご参照ください。

※入学手続についての詳細は、合格者に送付する「入学手続の手引き」をご参照ください。

7. その他

(1) 1.5年修了希望申請について

当研究科では、優れた研究実績のある社会人入学者を対象に1.5年修了制度を設けています。1.5年修了希望者は、社会で行なった業績に関する以下の書類とともに、入学手続き時に1.5年修了希望届を提出してください。なお、入学手続き期間以外の提出は認められません。

申請書式および詳細は、当研究科事務所にお問い合わせください（Tel: 03-3208-8560、E-mail: gse-ml@list.waseda.jp）。

- ・業績報告書（業績目録、各業績の概要書）
- ・原則として、業績は活字媒体のものとし、主要業績（最大3点まで）を貼付すること。
- ・報告可能な業績は、入学前3年以内のものに限る。

※なお、1.5年修了資格を得て入学した場合でも、1.5年で修了するためには所定の手続きが必要です。

詳細は、入学時に配布される研究科要項を確認してください。

(2) 入学金・学費・諸会費

<2012年度4月入学者 入学金・学費・諸会費>

(単位:円)

	納入期	入学金	学費			諸会費			合計
			授業料	教育環境整備費	演習料	学生健康増進互助会費	学会費入会金	学会費会費	
初年度	12年度春学期	200,000	266,500	60,000	1,500	1,500	2,000	750	532,250
	12年度秋学期	-	266,500	60,000	1,500	1,500	-	750	330,250
	計	200,000	533,000	120,000	3,000	3,000	2,000	1,500	862,500
第二年度	13年度春学期	-	268,500	60,000	1,500	1,500	-	750	332,250
	13年度秋学期	-	268,500	60,000	1,500	1,500	-	750	332,250
	計	-	537,000	120,000	3,000	3,000	-	1,500	664,500

- (注) 1. 正規の課程で当学学部および大学院に入学金を納め在籍した者が入学する場合は入学金免除となります。
2. 当学政治経済学部出身者は、学会費入会金が免除となります。
3. 一度提出した出願書類および納入した入学金、学費・諸会費（入学時）は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合には、学費・諸会費（入学時）のみ返還の対象となります。また、複数の研究科から入学を許可された場合、本人からの申し出により、既に納入した入学金、学費・諸会費（入学時）を入学希望研究科の費用に振り替えることができます（入学手続き期間が全く重ならない研究科間に限られます）。手続方法等、詳細については合格者に送付される「入学手続きの手引き」にて参照してください。
4. 演習料、諸会費は改定されることがあります。

(3) 入学後の研究指導および履修について

①入学前の準備

講義要項を事前に配布し、領域制の仕組みや指導教員の決定等についてオリエンテーションを行ないます。出願時に指導教員が決定していない新入生の方は、入学前に仮の指導教員（1名）および可能性のある指導教員を指定します（合計2名まで）。それに基づき、仮指導教員、可能な指導教員の基礎演習科目等をチェックし、それらの基礎となる科目や前提知識等を確認します。同時に、研究科全体の必修科目や指導教員別の必修科目等も確認し、時間割を作成していきます。

②オリエンテーション

学生生活を送るにあたっての注意・指導（特にレポートにおける盗用・剽窃行為について）を行ない、また領域制および指導教員決定についての追加説明・指導教員変更に関する申請の説明等を行ないます。

③授業開始後の研究指導

指導教員の最終決定に際して相談事項がある場合は、領域内での相談体制を整えておりますので、遠慮なくご相談ください。

④指導教員の決定

1年次の第一学期末までに全入学者の所属研究領域と指導教員を決定します。指導教員が仮決定の状態
で入学した方は、最終的に志望する教員から6月末（4月入学者の場合）までに正式な指導教員となること
の承諾を得、所定の書類を事務所に提出していただくことになります。

※指導教員を指定して入学された方については、上記とは別に決定した指導教員の研究指導を入学当初から
開始することとなります。なお、入学半年後に指導教員変更を希望する場合、指導教員変更申請の手続が
別途必要となります。

早稲田大学 コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

入学検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「サークルK」「サンクス」「ローソン」「ファミリーマート」で24時間いつでも払い込みが可能です。

1 Web申込み

携帯かパソコンで事前申込み
<http://e-shiharai.net/>
 携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

大学HPからもアクセスできます！

2 店舗に持ち込む

画面の指示に従って必要事項を入力し、番号を取得 ※番号名はコンビニによって異なります。

セブン-イレブン	サークルK・サンクス	ローソン	ファミリーマート
【払込票番号(13ケタ)】	【オンライン決済番号(11ケタ)】	【お客様番号(11ケタ)】と【確認番号(4ケタ)】	【お客様番号(11ケタ)】と【確認番号(4ケタ)】

セブン-イレブンの場合

●レジにて
「インターネット支払い」と店員に伝え、プリントアウトした【払込票】を渡すか、【払込票番号】をお伝えください。

※プリントしなかった場合は、番号を伝えるだけでOKです。

サークルK・サンクスの場合

●レジにて
「オンライン決済」と店員に伝え、【オンライン決済番号】をお伝えください。

ローソンの場合

店頭端末 Loppiへ
各種代金・料金お支払い
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス
【お客様番号】、【確認番号】を入力します。

※画面ボタンのデザイン等は、予告なく変更される場合があります。

ファミリーマートの場合

店頭端末 Famポートへ
代金支払い
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス
【お客様番号】、【確認番号】を入力します。

●レジにて代金をお支払いください。
 ●その際、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

●入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

検定料が3万円未満	473円	全コンビニ共通
検定料が3万円以上	683円	

●端末機より「申込み控え」(レシート)が出力されますので、30分以内にレジにてお支払いください。
 ●その際、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

3 出願

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼る。

●セブン-イレブン
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「チケット等払込受領証」は保管。

●サークルK・サンクス
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「オンライン決済領収書」は保管。

●ローソン
●ファミリーマート
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「取扱明細書(お客様控え)」は保管。

切り取った「収納証明書」を入学志願票の所定の欄に貼付。

入学志願票に貼付する「収納証明書」部分

※「収納証明書」を掲付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを発色させる場合があります」と記載されている欄はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く発色する恐れがあります。

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日のシステム対応は23:30まで、「Webサイトでの申込み」は23:00までとなりますので、余裕をもってお支払いください。
- 一度お支払いされた入学検定料は、店頭では一切返金できませんのでご注意ください。

「コンビニでの検定料納入」についてのお問い合わせは

※コンビニ店頭ではお答えできません

ユーザーサービスサポートセンター <http://e-shiharai.net/info/>

[特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度]

1. 概要

当学学部または研究科への入学を希望する出願者が、当学が指定する国に居住しかつ国籍を有する場合、本人からの申請に応じて検定料を免除します。

2. 対象者

次の条件を全て満たす場合。

- 1) OECD/DAC が発行する ODA 受給国リストに掲載される「Least Developed Countries」 「Other Low Income Countries」の認定国に居住し、かつ該当国の国籍を有する方。ただし、居住国と国籍は同一の国である必要はありません。
 - * 「ODA 受給国リスト (2008～2010 年版)」参照。
 - * 日本国内からの出願は対象外とします。
- 2) 重国籍の場合は、いずれの国籍も前項の国に該当していることが必要です。

3. 手続

当学学部または研究科を志願する際、出願書類として提出をもとめている検定料振込証明書 (海外送金依頼書のコピー) の代わりに以下の書類を同封して申請してください。事後の申請はいかなる理由でも受け付けません。

- 1) 検定料免除措置申請書 (p. 21 の所定様式)
- 2) パスポートのコピー (本人に関する記載事項の全ての欄)

* 本免除申請をする場合は、検定料を支払う必要はありません。なお、本免除申請を行う前に支払ってしまった場合には、検定料の返還は行いません。

* 万が一、申請者が本免除措置の対象とならない場合や、虚偽の申請があった場合は、その事実が判明した時点で出願自体を取り消すことがあります。

[ODA 受給国リスト (2008～2010 年版)]

○最貧国 (Least Developed Countries) *49 カ国 (49countries)

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベニン、ブータン、ブルキナファソ、ブルンジ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、コンゴ、ジブチ、赤道ギニア、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、モルディブ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、サモア、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、スーダン、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、バヌアツ、イエメン、ザンビア

○低所得国 (Other Low Income Countries) *12 カ国 (12 countries)

コートジボアール、ガーナ、ケニア、朝鮮民主主義人民共和国、キルギス、ナイジェリア、パキスタン、パプアニューギニア、タジキスタン、ウズベキスタン、ベトナム、ジンバブエ

2012年度 早稲田大学検定料免除措置申請書
Application Form for Screening Fee Waiver, 2012
Waseda University

申請日： 年 月 日
 Date of Application: Year Month Date

早稲田大学の検定料免除を希望する場合は、本様式を作成し、他の書類と一緒に提出してください。また、本申請をする場合、所定の検定料の支払は不要です。万が一、支払った場合でも、返金は出来ませんので注意してください。

If you would like to apply for a screening fee waiver, please submit this application form with the other documents. If you apply for a screening fee waiver, you are not required to pay the screening fee. Please note that you will not be reimbursed under any circumstances once the payment of screening fee has been made.

出願学部・研究科：
 Name of the Undergraduate School/ Graduate School which you are applying for.

出願者氏名：
 Applicant's Name 姓(Family), 名(Given & Middle)

国 籍 1：
 Nationality 1

国 籍 2：
 Nationality 2 (for applicants with dual nationality)

現 住 所：
 Current Address

該当国/Eligible Countries *ODA 受給国 (61 recipient countries of ODA, listed below as in 2008-2010)

[Least Developed Countries]
 Afghanistan, Angola, Bangladesh, Benin, Bhutan, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Central African Rep., Chad, Comoros, Congo, Dem. Rep., Djibouti, Equatorial Guinea, Eritrea, Ethiopia, Gambia, Guinea, Guinea-Bissau, Haiti, Kiribati, Laos, Lesotho, Liberia, Madagascar, Malawi, Maldives, Mali, Mauritania, Mozambique, Myanmar, Nepal, Niger, Rwanda, Samoa, Sao Tome and Principe, Senegal, Sierra Leone, Solomon Island, Somalia, Sudan, Tanzania, Timor-Leste, Togo, Tuvalu, Uganda, Vanuatu, Yemen, Zambia

[Other Low Income Countries]
 Cote d'Ivoire, Ghana, Kenya, D. P. R. Korea, Kyrgyz Rep., Nigeria, Pakistan, Papua New Guinea, Tajikistan, Uzbekistan, Viet Nam, Zimbabwe

早稲田大学大学院 経済学研究科

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

Tel. 03-3208-8560 Fax. 03-3204-8957

E-mail. gse-ml@list.waseda.jp